

# UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail [sodan@jrtu.or.jp](mailto:sodan@jrtu.or.jp)

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95 (03)6718-1251  
JR東海品川ビル3階5F  
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の職務料に含む

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 宮崎 勝典

JR東海ユニオン最大の取組み



## 全職場総対話行動がスタート!

～組織強化の取組みとして、対面による総対話行動を展開!～

JR東海ユニオン発足以来の最重点取組みである2024秋の「全職場総対話行動」が10月7日(月)から12月13日(金)までの約2箇月半にわたり開催となる。すべての分会が一斉に総対話行動の運営を行い、支部・地本・総支部・中央本部が一体となって実施していく。

「全職場総対話行動」は、組織強化および組織内コミュニケーションの充実に図る上で重要な役割がある。この間の経験を踏まえ、直接対話による双方の議論には、組合員の想いと課題の本質を確認できることや対面により開催することで、組合員からの意見・要望の熱量をその場で共有するとともに「きょうむそくほう」や「きょうむれいばー」とには記載しきれない行間のやりとりを共有することで、様々な課題を把握し解決に向けた方向性を議論することにもつながるため、組織全体で着実に進めていかなければならない。そうしたメリットを最大化するために、対面により秋の「全職場総対話行動」の取組みを展開する。



役員からの課題提起

### 全職場総対話行動の進め方

2024秋の「総対話行動」は、各級機関において「対面」での開催による総対話行動の取組みを展開する。

取組み方法については、全員参画型の集会形式(直接対話)により開催とし、各分会において組合員全員に声を掛け、集会への参加を要請します。

### 総対話行動実施にあたってのポイント

・分会が主催となり総対話行動を実施する。

・分会が主催となり総対話行動を実施する。

・会場確保は便宜供用申請を必ず行う。

・参加率50%以上を目標とし、40%未満の分会を発生させない取組みを実施する。

・各級機関においては、組織強化のサイクル(議論→活動→回答)を意識して取り組むこととし、集会等で組合員へ報告する。

・集会で挙げられた意見は、分会が責任をもって上部機関(支部、地本、本部)へ速やかに報告する。

※詳細は「みんなでアクション!ガイドブック」分会役



静岡支社工務部分会のようす

員の手引き」に記載の内容を確認したうえで集会に臨もう。

7」に基づく運動を展開し、全組合員で「総対話行動に行こう!」と声を掛け合い「全職場総対話行動」を盛り上げていこう!